

安心の本を磨ける 心と体を潤す水



工場の内部。これは製品を箱に詰める工程である。商品に少しでも不良な点が無いよう、作業員が細心の注意を払っている。

株式会社あづみ野ビバレッジ松川工場は、松川村の天然水の汲み上げ、ボトルングを行っている工場である。この工場は2009年の春に建設された。

松川村で汲み上げられる地下水は、硬度が低く、良質な水のため工場が建設される2年も前から着目されていた。そして、安曇野各地の地下水の成分を検査した結果、松川村が選ばれた。松川村の天然水は安曇野の中から選ばれた水なのである。

安曇野ヒバレッジの出荷地は県内にとどまらず、関東、関西などにも出荷している。なぜならそのような都会の地域は

村の天然水は安曇野の中から選ばれた水なのである。松川工場では「安心・安全」をモットーにミネラルウォーターを製造している。そのためミネラルウォーターの製造ラインの殺菌を徹底して精密に行っている。特にボトルングの工程は、工場始動前に温水除菌をした無菌室で行われている。



取材を受けてくださった宮坂 昭彦さん

あづみ野人

ここ松川にある日東光学は今年で創業68年を迎えた。そこで働く宮坂昭彦さんに取材したところによると、日東光学は本社がある諏訪市を始め、上諏訪やイン

こちらのよつに水道水を安全に飲めるわけではないからである。必要とする人々がいるから、あづみ野ビバレッジは県外にも商品を出荷している。だがそれは県内も同じことだ。



軟らかい水ってどんな水？
軟水は赤ちゃんのミルク作り、お茶やだし汁などに適している。硬水はミネラルウォーターの名の通り、ミネラル分の補給、また灰汁(あく)を出しやすいため、灰汁の出る料理に適している。

ドネシアに工場を置いていた。日東光学では主にカメラのレンズを作っている。コンパクトカメラのレンズの10%は日東光学が作っている。その他、プロジェクターのレンズや車の部品、LEDの照明レンズなどを製造している。

日東光学の特徴は、設計開発から製造・組み立ての最終段階まで作れることだ。かつては、カメラ全体を作っていたときもあり、レンズも元々は、ガラスで作っており高価であった。5年ほど前からプラスチックで作るようになり、機械の台数も増え、一度に多くの製品が作れるようになった。作ったものは、カメラの大手メーカーに供給している。特に日本国内より海外のメーカーに多く供給している。



木々に囲まれた日東光学松川工場。遠くからでも日東光学の文字が見られる。

LEDとは、導電することによって発光する半導体素子。発光ダイオード。LEDには主に青色LEDと白色LEDがあり、電球や蛍光灯に比べて低消費電力、軽量、長寿のため、次世代の照明として期待されている。その他にも、CO2排出量が少ない、取り替えなど維持管理コストが安い、などの長所がある。LEDはさまざまな色の光を作ることができるため、現在では用途が拡大している。2012年春竣工予定の東京スカイツリーでは、夜のライトアップ照明をすべてLEDで行う予定である。

LEDは経済的で環境にも配慮している。LEDは、これからの暮らしを担う新しい明かりとして、とても注目されている。



カメラのレンズを撮影している現場。精密な機械がたくさん並んでいる。